

---

# 日本村落研究学会 研究通信

(No.270 2024. 6. 1)

JARS (Japanese Association for Rural Studies)  
Newsletter (No.270, June 1, 2024)

---

(事務局) 田中里美(総務担当)・庄司知恵子(会計担当)・佐藤洋子 (Web 担当)

連絡先：〒402-8555 山梨県都留市田原 3-8-1

都留文科大学 教養学部 地域社会学科 田中里美研究室内

TEL: 0554-43-4341(内線 452) e-Mail: sonkenjimu2024(at)gmail.com

郵便振替口座：00150-9-387521 日本村落研究学会

ホームページ・アドレス： <https://jars.smoosy.atlas.jp/ja>

---

I. 理事会報告 (2024 年度第 3 回理事会)

II. 第 72 回 (2024 年度) 大会の案内 III. 第 72 回 (2024 年度) 大会 自由報告の募集について

IV. 地区研究会活動報告 V. 地区研究会開催案内 VI. 新入会員の紹介

---

## I. 理事会報告

### 【2024 年度第 3 回理事会】

日時：2024 年 4 月 20 日 (土) 10:00~14:00

会場：オンライン会議

出席者：(五十音順・敬称略)：市田知子、岩間剛城、越智正樹、奥井亜紗子、川田美紀、  
澤野久美、高村竜平、立川雅司、鶴理恵子、土居洋平、平井太郎、平井勇介、藤井和佐、  
三須田善暢、家中茂、矢野晋吾、山下亜紀子、渡邊悟史

(事務局) 田中里美、庄司知恵子、佐藤洋子

欠席：林琢也

### 1. 事務局報告

#### (1) 会員動向

2024 年 4 月現在会員数 409 名であることが報告され、以下の会員異動について承認された。

○入会：4 名

氏名	所属	会員種別	紹介者
加賀谷 真梨	新潟大学	正会員	山下 亜紀子

加藤 祥之	JA 新しのつ	正会員	事務局
楠瀬 慶太	高知新聞社	正会員	山本 早苗
棕田 瑛梨佳	農研機構	正会員	堤 美智

○退会: 3名

足立芳宏 (正会員)、岡田栄二 (正会員)、柳村俊介 (正会員)

## 2. 各種委員会等報告

### (1) 研究・年報編集委員会

1) 本年度大会のテーマセッションは、「農山村地域に立ち現れる生活問題と地域における生活の編み直し」(仮題)を共通テーマに、山下亜紀子会員(九州大学)をコーディネーターとして準備を進めている。報告者は、望月美希会員(静岡大学)、坂梨健太会員(京都大学)、加賀谷真梨会員(新潟大学)、杉田英治氏(NPO 法人五ヶ瀬自然学校)である。

2) 『年報 村落社会研究第60集』編集の進捗について報告があった。

(川田美紀・三須田善暢)

### (2) 村研ジャーナル編集委員会

#### 1) 村研ジャーナル 60号について

論文1本、特別寄稿1本、年報58集合評1本、書評10本、研究奨励賞講評1本および受賞コメント2本を掲載した68頁の60号が2024年5月中旬にJ-stage上に掲載見込みであることが報告された。なお、60号からは紙媒体の制作を停止するためJ-stage掲載をもって発行となる。

#### 2) 村研ジャーナル 61号(2023年10月刊行予定)以降の編集について

現在、7本の論文を査読中であること、研究会報告2件の原稿化を予定していること、年報合評については今後も継続する予定であることが報告された。

#### 3) 研究会の開催

2024年3月28日に東北地区研究委員会と共同で研究会「農業集落調査の来し方行く末」を開催した(詳細はIV.地区研究会活動報告を参照のこと)。7月中旬に報告をまとめ、61号に報告を掲載予定であることが報告された。

#### 4) その他

##### ①二重投稿の判断基準について

二重投稿の判断基準について、委員会で議論しており、それを踏まえて誓約書の様式を改訂予定であることが報告された。

②献本をうけたが書評担当者があられなかった本の在庫があり、その扱いを検討中であることが報告された。

(高村竜平)

### (3) 国際交流委員会

下記の日程でアジア農村社会学会(ARSA)が開催予定であることが報告された。発表・参加エントリーはすでに締め切られている。

○第7回アジア農村社会学会 (ARSA) 大会

日程: 2024年9月7日(土)~9日(月)

場所: 龍谷大学(京都市)

形式: 対面

テーマ: Recasting Peasantries for a Sustainable Future in Rural Asia: Multiple trajectories of modernization

(渡邊悟史)

#### (4) 学会研究奨励賞選考委員会

報告事項は2点である。1つめは、2024年4月20日の第3回理事会時点での推薦の状況について、論文の部門は0件、著書部門に1件である。締切は5月末である。2つめは、非理事の選考委員選出について、靄・家中で相談し、これから依頼を行う。

審議事項は、1つである。前回の理事会で選考基準を含む内規案を第3回理事会に提案するとしていたが、過去の授賞理由等を確認する過程で、検討すべきことが多々あることが分かったため、この1年かけて案を作成することをお認めいただきたいと提案した。異論なく了承された。

(靄 理恵子)

### 3. その他委員会報告

#### (1) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS) 担当

村研サイトのリンクのページにGEAHSSサイトがリンクされたこと、および2024年3月27日(水)にオンラインで開催されたGEAHSS第7期第1回(通算第13回)運営委員会における議事内容について報告がなされた。また、議事録や第2回人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査の集計結果がGEAHSSサイトに掲載予定であること、ハラスメントに関する規定等についての情報共有ワークショップが開催予定であることの周知がなされた。

(藤井和佐)

#### (2) 農業経済学関連学会協議会

2024年3月23日(土)にオンラインで開催された。浅見淳之会長の挨拶に続き、①日本学術会議報告を中嶋康博会員から、②科研費の状況について日本学術振興会・櫻井清一専門研究員(農学・環境学班)からご説明頂いた。その後、③「若手、女性研究者の育成に対する取り組み」について、参加学会間で情報共有がなされた。具体的には、会費減額(コロナ時は免除、今後復活させる動き)、研究助成(投稿指導を伴う例も)、学会奨励賞、シンポジウムや理事会への登用などの例が紹介された。

(立川雅司)

#### (3) 農業経済学関連学会編集委員長会議

2024年3月23日(土)にオンラインで開催され、二重投稿への対応や倫理規程の制定状況などについての情報交換を行なった。その一部はジャーナル投稿時の誓約書に反映させる予定である。次回は2026年3月の日本農業経済学会開催に合わせて行うこととした。

(高村竜平)

#### 4. 第73回大会（2025年度）について

日本村落研究学会第73回大会（2025年度）を、山形県西村山郡西川町大井沢にて実施する。開催に向け、実行委員会を編成した。土居洋平（跡見学園女子大学）が委員長を務めるほか、牧野修也会員（神奈川大学他非常勤）・中川恵会員（山形県立女子短期大学）・岡田航会員（尚絅学院大学）が委員を担い、来年秋に向けた準備を行っていく。日程等、今後、学会HPや研究通信にてご内していく予定である。

(土居洋平)

## II. 第72回（2024年度）大会の案内

第72回（2024年度）の日本村落研究学会大会は、11月30日（土）・12月1日（日）の日程で、琉球大学千原（せんばる）キャンパスで開催します（大会実行委員長：越智正樹）。千原キャンパスは、沖縄県中頭郡西原町、中城村および宜野湾市にまたがる位置にあり、那覇市中心部からは車で40分程度を要します。交通手段および宿泊は各会員にて確保していただけますようお願い申し上げます。なお、今大会ではエクスカーションは実施いたしません。

自由報告の発表は対面実施限定といたしますが、視聴についてはテーマセッション等も含めオンラインでも可能といたします。

### 【大会概要】

◆期日：2024年11月30日（土）、12月1日（日）

※理事会、ジャーナル編集委員会、研究委員会は、11月29日（金）夜に那覇市内で開催される予定です。詳細は理事会もしくは各委員長にお問い合わせください。

◆会場：琉球大学千原キャンパス（文系講義棟）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1

◆宿泊：各自でご確保ください（琉球大学近傍には宿泊施設がほとんどございませんので、他学会の全国大会においても、那覇市内でのご宿泊をお勧めするのが通常です。大会時期は、大型スポーツイベント（NAHA マラソン）開催日や修学旅行のハイシーズン等と重なりますので、お早目のご予約をお勧めいたします）。

### 【大会スケジュール】

◆11月30日（土）自由報告・地域セッション・総会

8:45～ 開会式（メイン会場）

9:00～12:15 自由報告（A、B、C会場）

12:15～13:10 昼食（弁当配布<sup>※</sup>）

13:10～15:05 自由報告（A、B、C会場）

15:05～15:25 休憩

15:25～16:55 地域シンポジウム（メイン会場）

16:55～17:10 休憩

17:10～18:30 総会（メイン会場）

◆12月1日(日) テーマセッション

9:00～12:00 テーマセッション（メイン会場）  
12:00～13:00 昼食（弁当配布<sup>※</sup>）  
13:00～15:00 テーマセッション（メイン会場）  
15:00 閉会式（メイン会場）

（※弁当配布は事前予約した方のみ。）  
（懇親会は実施いたしません。）

【地域シンポジウム】

- ・テーマ：沖縄の地域からの「ソーシャル・イノベーション」（仮題）
- ・報告者：仲本いつ美氏（(株) Endemic Garden H 代表取締役：国頭村・大宜味村）  
石川優子氏（地域団体 su-te：うるま市宮城島）  
大城和也氏（漁業者、観光交流施設ゆにま～る代表：豊見城市）
- ・コーディネーター：越智正樹

【大会参加費・昼食費】

◆参加費

正会員：3,000円 院生会員：2,000円

◆昼食費（仕出し弁当）

各日1,200円

（琉球大学近傍の食事処は限られていますので、昼食は弁当を事前予約なさるかご持参になることをお勧めいたします。なお、コンビニは大学近くにあります。）  
（エクスカージョン、懇親会は実施いたしません。）

【大会申込み】

参加される方は、2024年10月10日までに、Peatix (<https://peatix.com/event/3927826/view>)にてお申込みください。上記HPの「チケットを申し込む」ボタンからお申込みならびにお振込みをいただけます。

- ・参加費は、実際のご参加日数にかかわらず、全日一括の料金です。「参加費（正会員）」か「参加費（院生会員）」のいずれか1枚のみご購入ください。
- ・オンラインのみでご参加の方も、参加費のお支払いは必要です。
- ・各日の仕出し弁当については、ご希望の方のみご購入ください（ご購入は各日1個のみ可能です）。

★Peatixでの大会参加申込みにあたっては、システムにログインするためのアカウントをご使用いただく必要があります。Peatix アカウントを未取得の方は、Peatix のホームページ

<https://peatix.com> の画面右上方にある「新規登録」から設定してください。

あるいは、Facebook、X、Google、Apple のいずれかのアカウントを使ってログインすることもできます。

### 【託児サービスについて】

ご利用をご希望の方は、8月20日までに大会事務局までご連絡ください。

(託児サポートの予約期限が、開催3ヶ月前までとなっております。)

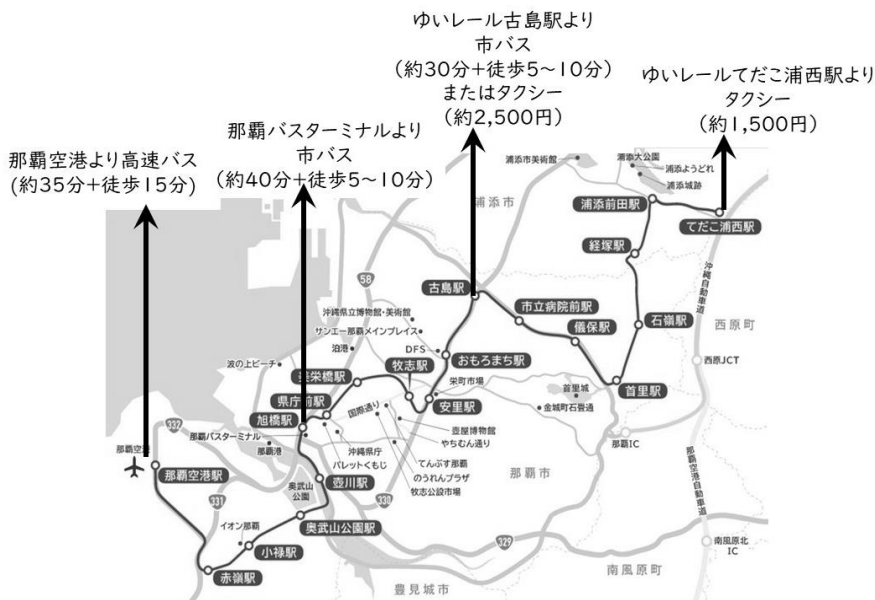
(自己負担額が発生する場合がございます。)

### 【会場へのアクセス】

他学会の全国大会においても、琉球大学へのご来訪には公共バスのご利用をお勧めしております。ただバスの本数は限られており、混雑もあり得ますことから、特に正会員におかれましてはタクシー・レンタカー等のご利用・お乗り合わせもご検討いただけますようお願いいたします(琉球大学内の駐車場は無料で駐車できます)。

以下、琉球大学サイト内「アクセス」ページもあわせてご参照ください。

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/access>)



ゆいレール沿線図

※「那覇バスターミナル」は ゆいレール旭橋駅から徒歩3分。



※琉球大学千原キャンパスには北口（宜野湾口）・南口（西原口）・東口（中城口）の3つの入口がありますが、会場は「東口」の近くです。

※「琉大北口」から会場までは徒歩10分余。徒歩の場合、キャンパス内の初めの信号を直進し、そのまますぐお進みください（環状道路を歩いても着きますが遠回りです）。

※琉球大学サイト内「キャンパスマップ」もご参照ください。

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campus-map>)

#### ◆バスの系統

- ・那覇バスターミナル ⇄ 琉大東口 : 97番  
(バスの終点は琉大北口です。)
- ・那覇バスターミナル ⇄ 琉大北口 : 97番、98番  
(98番はゆいレールおもろまち駅、古島駅も経由します。)
- ・那覇空港（国内線ターミナル前）⇄ 琉大入口 : 111番、113番、117番

※バスの時刻・便数は時期によって変動しますので、最新の情報にご注意ください。

#### ◆レンタカーでのご来学

- ・後日、大会参加者用の入構許可証を Web で発行する予定です。事前に印刷してご持参の上、お車のダッシュボードに置いて呈示してください（駐車料無料）。
- ・お車の走行は、環状道路内部は不可です（駐車場への支道を除く）。
- ・駐車場は会場近辺が便利ですが、学内の駐車場はどこにお駐めいただいてもけっこうです。詳しい位置は上記キャンパスマップをご確認ください。

**【大会事務局】**

越智正樹（大会実行委員長） mochi(at)grs.u-ryukyu.ac.jp

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1 琉球大学国際地域創造学部

研究室電話：098-895-8467

### Ⅲ. 第72回（2024年度）大会 自由報告の募集について（再掲）

第72回大会における自由報告（対面）を募集します。多くの会員の報告を期待しております。報告希望者は、7月19日（金）までにタイトルおよび報告者名と所属を、8月19日（月）までに報告要旨（1200字程度）を、事務局内研究委員会宛に（e-mail: sonken2024presentation(at)gmail.com、または郵便にて）提出して下さい。

\*郵便の場合、事務局の住所は、「通信」1頁をご覧ください。

### Ⅳ. 地区研究会活動報告

○ジャーナル編集委員会研究会（東北地区研究会共催）

「農業集落調査の来し方行く末」

日時：2024年3月28日（木）14:00～17:00

場所：TKP 仙台ガーデンシティ カンファレンスルーム

報告者：

- ①平井太郎氏（弘前大学）「1955年調査と村落構造分析」
- ②松本貴文氏（國學院大学）「1970年調査と村落領域論」
- ③竹田麻里氏（東京大学）「2025年調査をめぐる経緯と展望」
- ④橋口卓也氏（明治大学）「農業集落調査の食料・農業・農村政策にもつ意義」
- ⑤高山太輔氏（福島大学）「農業集落調査と計量政策分析——量と質の架橋」

参加者：会場21名、オンライン14名

2024年3月28日、「農業集落調査の来し方行く末」をテーマに村落研究ジャーナル編集委員会・研究委員会（東北地区）合同研究会が開催された。初めに平井太郎氏が解題および1955年調査と村落構造分析と題して報告を行い、続いて松本貴文氏が1970年調査と村落領域論と題して報告を行った。さらに、竹田麻里氏、橋口卓也氏、高山太輔氏から、農業集落調査廃止をめぐる経緯について、農業集落調査と食料・農業・農村政策の関係について、農業集落調査の計量経済学的研究における利用についてそれぞれ報告があった。

竹田氏の報告を聞いて、今回の農業集落調査問題をめぐる農林水産省の対応は、廃止から代替案の提案までが軽率であり、集落調査が軽く扱われているように感じた。橋口氏の報告で触れられていたように、農村政策における集落調査の意義が必ずしも明確ではないことがその理由として挙げられるだろう。だとすれば、今後の農村政策に集落調査をどのように位置づけるかという議論は避けて通れない。高山氏の報告では、農業集落調査を用いた計量経済学的研究には、農地や農業用排水路の管理や中山間および多面的機能支助の研究が多いことが指摘されていたが、資源管理だけではなく農村住民の生活基盤や福祉の向上といった広義の農村政策に位置付けることが重要であろう。以上が筆者の考えだが、平井氏や松本氏の報告では、農村政策をどのように展望し、集落調査をど



う位置づけるかという問いからはあえて距離を置いているようにも感じた。

後半の討議で村落研究と政策のあるべき関係について議論が展開すれば良かったが、時間の都合上難しかったといえる。とはいえ各報告には、農業集落調査の過去を理解し、展望について考える上で重要な論点が多数含まれており、「農業集落調査の来し方行く末」というテーマに十分応えるものになっていたと感じた。本研究会の報告者と企画運営に携わった方々に改めて敬意を表したい。

(高野涼)

## V. 地区研究会開催案内

○九州地区研究会

日時：2024年9月4日（水）14：30～17：45

場所：エムアティン博多駅前会議室 5階5I会議室

（福岡市博多区博多駅前3-25-24八百治ビル／博多駅博多口徒歩2分）

報告者：望月 美希（静岡大学）

坂梨 健太（京都大学）

加賀谷 真梨（新潟大学）

杉田 英治（NPO 法人五ヶ瀬自然学校）

進行：山下亜紀子（九州大学）

「農山村地域に立ち現れる生活問題と地域における生活の編み直し」（仮題）をテーマに議論を行います。詳しくは、学会 WEB サイトと、研究会開催前に学会一斉メールにてご案内いたします。研究会は対面（現地参加のみ）で行います。

問い合わせ先：福本純子（福岡県立大学） fukumoto(at)fukuoka-pu.ac.jp

：山下亜紀子（九州大学） yamashita.akiko.078(at)m.kyushu-u.ac.jp

\*「発達障害児の地域社会型家族支援システム「ドゥーリア」モデルを考える」研究会（代表者：山下亜紀子）と共催で行います。

○中国四国地区研究会

日時：2024年9月29日（日）13：15～18：00

場所：岡山国際交流センター 5階第3会議室

（岡山県岡山市北区奉還町2-2-1／岡山駅西口徒歩3分）

報告者：佐藤 洋子（高知大学）

二階堂 裕子（ノートルダム清心女子大学）

今年度大会テーマセッションに対応させて企画を立て、上記のお二人にご報告いただきます。詳しくは、学会 WEB サイトと、研究会開催前に学会一斉メールにてご案内いたします。オンライン配信についても準備する予定です。

問い合わせ先：家中茂（鳥取大学） seayanak(at)icloud.com

## VI 新入会員の紹介（略）